

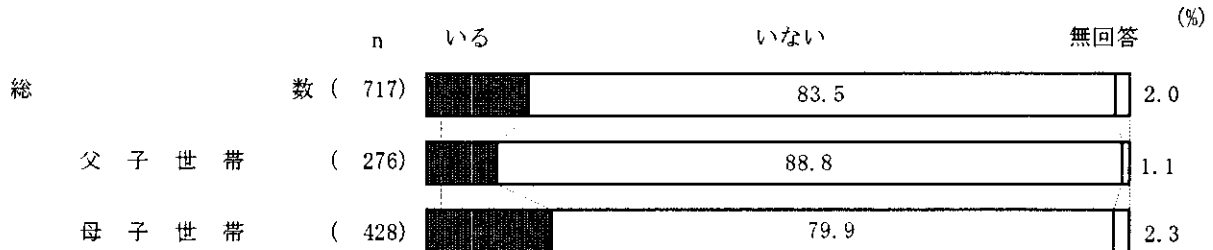
(6) 定期的な通院を必要とする子どもの有無

【全員の方にお聞きします。】

問26 あなたのお子さんの中に、病院・医院などへの定期的な通院を必要とするお子さんはいますか。

(○は1つ)

図3-6-1 定期的な通院を必要とする子どもの有無

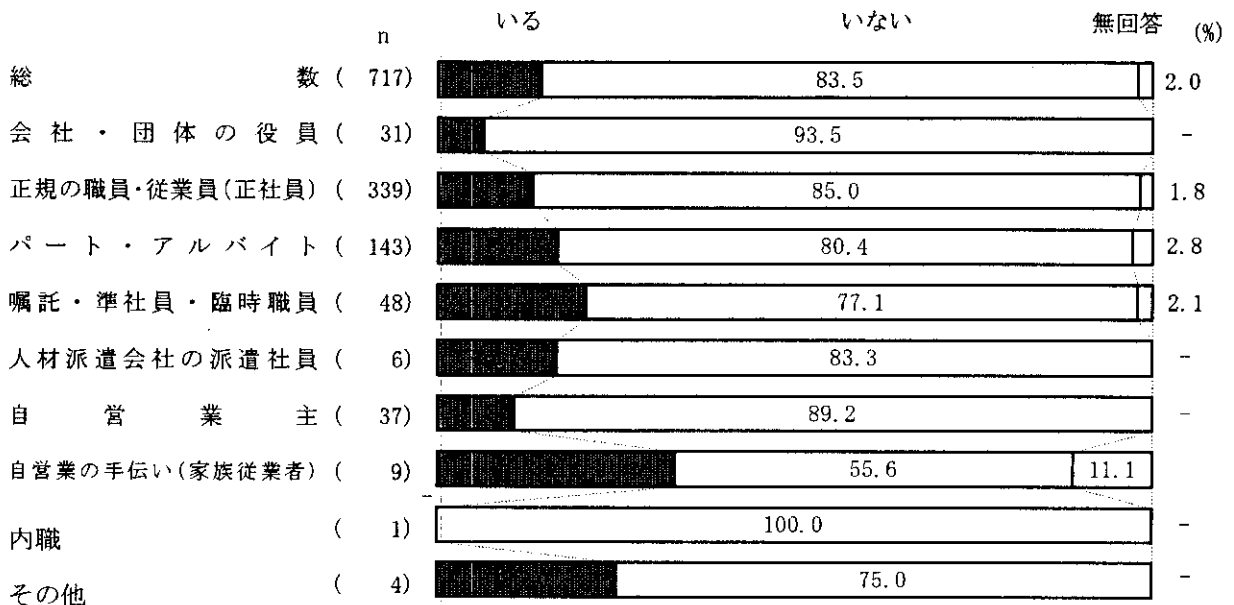


病院・医院などへの定期的な通院を必要とする子どもの有無についてみると(図3-6-1)、「いる」と答えた人は14.5%となっている。

男女別にみると、定期的な通院を必要とする子どもが「いる」と答えた人は父子世帯(10.1%)より母子世帯(17.8%)で8ポイント多くなっている。

現在の働き方別にみると(図3-6-2)、正規の職員・従業員、パート・アルバイトとも15%前後みられる。

図3-6-2 定期的な通院を必要とする子どもの有無(現在の働き方別)



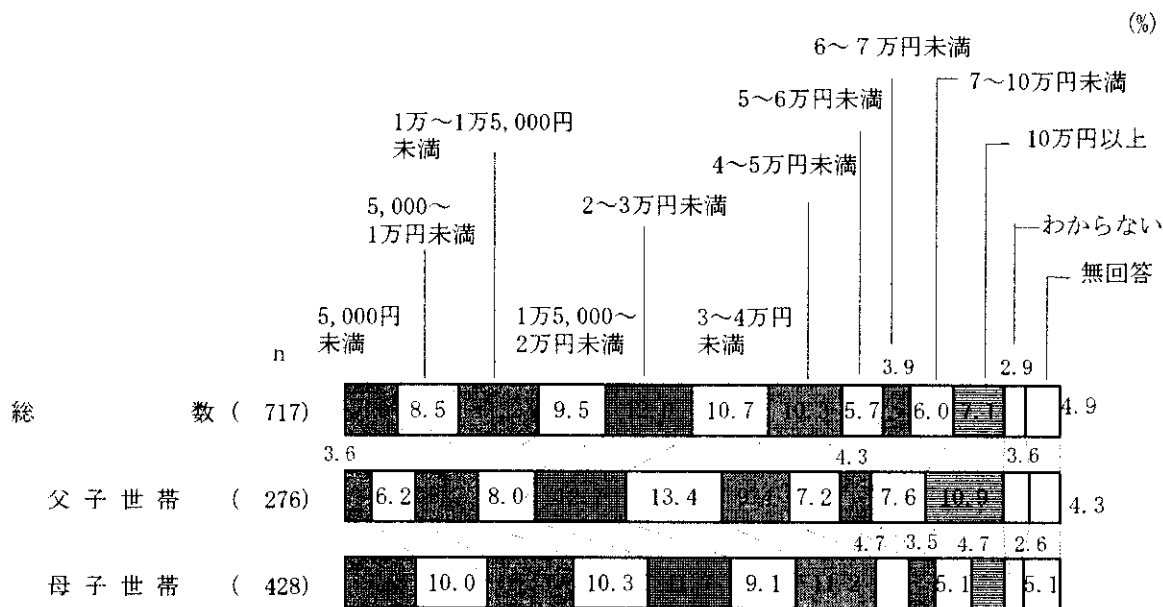
(7) 1ヶ月あたりの保育費・教育費

問27 お子さんにかかる保育費・教育費は、1ヶ月あたりどのくらいになりますか。(○は1つ)

*保育費・教育費には、保育料、学校教育費、通学費、塾・おけいこ事代などをふくみます。

おこづかい、下宿代、仕送りなどはのぞいてください。

図3-7-1 1ヶ月の保育費・教育費



子どもにかかる1ヶ月あたりの保育費・養育費をみると(図3-7-1)、「2~3万円未満」(12.0%)、「1万~1万5,000円未満」(11.2%)、「3~4万円未満」(10.7%)、「4~5万円未満」(10.3%)、「1万5,000円~2万円未満」(9.5%)などが1割前後で、3万円未満を合計すると48.5%と5割弱となっており、回答は分散している。

男女別にみると、3万円未満の合計は父子世帯が39.2%、母子世帯が53.9%となっており、全体として父子世帯の方が高くなっている。

子どもの人数別にみると（表3-7-1）、子どもの人数にかかわらず、費用は分散しているが、3万円未満を基準にみると、1人では合計63.1%であるのに対して、2人では40.0%、3人では35.0%と少なくなっている。

表3-7-1 1ヶ月の保育費・教育費

(%)

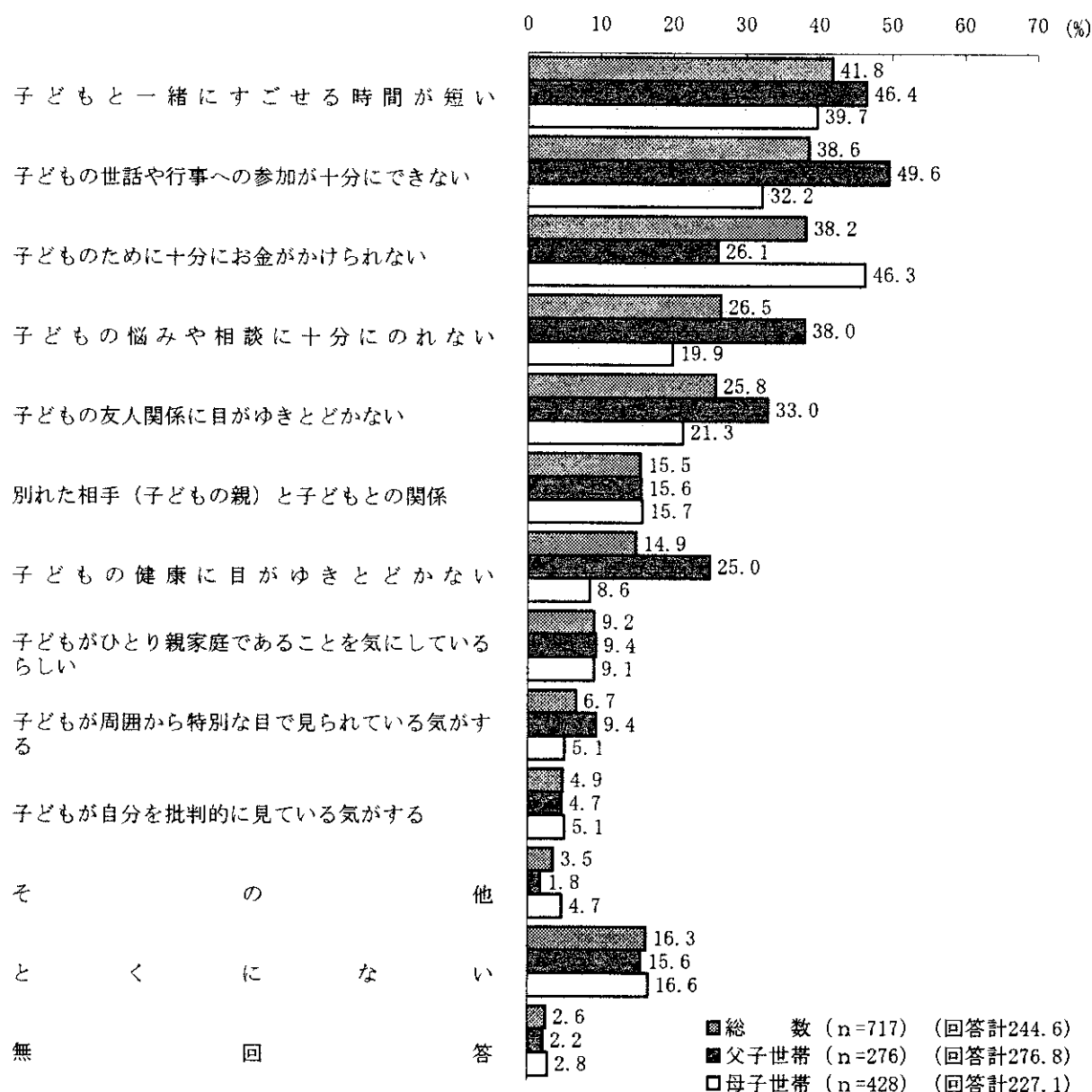
	n	5,000 円未 満	5,000 ～1万 円未 満	1万～ 1万 5,000 円未 満	1万 5,000 ～2万 円未 満	2～3 万円 未満	3～4 万円 未満	4～5 万円 未満	5～6 万円 未満	6～7 万円 未満	7～10 万円 未満	10万 円以 上	わか らな い	無回 答
総 数	717	7.3	8.5	11.2	9.5	12.0	10.7	10.3	5.7	3.9	6.0	7.1	2.9	4.9
（子供の人数別）														
1 人	283	11.3	10.2	14.8	12.7	14.1	11.0	7.8	3.5	1.1	2.8	3.2	3.2	4.2
2 人	307	5.9	7.8	9.1	6.8	10.4	11.1	14.0	5.9	5.2	7.5	8.5	2.0	5.9
3 人	103	1.9	4.9	6.8	9.7	11.7	10.7	6.8	9.7	7.8	9.7	11.7	3.9	4.9
4 人	18	-	11.1	11.1	5.6	-	5.6	11.1	11.1	-	11.1	22.2	11.1	-
5 人	6	-	16.7	16.7	-	33.3	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-

(8) 子育ての不安や悩み

問28 子育てをするうえで、次のようなことに不安を感じたり悩んだりすることがありますか。

(○はいくつでも)

図3-8-1 子育ての不安や悩み



子育てをするうえでの不安や悩みをみると(図3-8-1)、「子どもと一緒にすごせる時間が短い」(41.8%)と「子どもの世話や行事への参加が十分にできない」(38.6%)、「子どものために十分にお金がかけれられない」(38.2%)と答えた人が4割前後と多く、次いで「子どもの悩みや相談に十分にのれない」(26.5%)と「子どもの友人関係に目がゆきとどかない」(25.8%)がほぼ4人に1人の割合であげられている。

男女別にみると、父子世帯では「子どもの世話や行事への参加が十分にできない」(49.6%)、「子どもの悩みや相談に十分にのれない」(38.0%)、「子どもの友人関係に目が

ゆきとどかない」(33.0%)、「子どもの健康に目がゆきとどかない」(25.0%)と答えた人が母子世帯より多く、一方、母子世帯では「子どものために十分にお金がかからない」と答えた人(46.3%)が最も多くあげられ、父子世帯とは20ポイントの差がみられる。

同居・非同居別にみると(表3-8-1)、「子どもの世話や行事への参加が十分にできない」と答えた人は父子同居世帯(55.3%)で多く、「子どものために十分にお金がかからない」と答えた人は母子非同居世帯(49.4%)で多くなっている。「子どもの悩みや相談に十分にのれない」と答えた人は父子世帯(非同居世帯39.7%、同居世帯35.1%)で多く、「子どもの友人関係に目がゆきとどかない」と答えた人は父子非同居世帯(41.2%)で多くなっている。

表3-8-1 子育ての不安や悩み(同居・非同居別)

(%)

	n	子どもと一緒過ごす時間が短い	子どもの世話を十分にできない	子どものために十分にお金がかからない	子どもの悩みや相談に十分にのれない	子どもがゆきとどかない友人関係に	別の親(相手)と子どもとの関係に	子どもの健康に目が
総数	717	41.8	38.6	38.2	26.5	25.8	15.5	14.9
(同居・非同居別)								
父子(非同居)	131	44.3	43.5	27.5	39.7	41.2	10.7	32.1
父子(同居)	114	48.2	55.3	19.3	35.1	25.4	20.2	16.7
母子(非同居)	253	38.3	31.2	49.4	22.9	21.7	16.6	9.9
母子(同居)	131	43.5	33.6	40.5	13.0	22.1	17.6	5.3

	子どもがひとり親として生活している	子どもが周囲から特別に気をつけて見られている	子どもが批判的に見られている	その他	とくにない	無回答	回答計
総数	9.2	6.7	4.9	3.5	16.3	2.6	244.6
(同居・非同居別)							
父子(非同居)	9.2	11.5	6.9	2.3	16.0	1.5	286.3
父子(同居)	9.6	7.9	0.9	1.8	16.7	1.8	258.8
母子(非同居)	9.9	7.1	5.1	5.5	16.2	2.0	236.0
母子(同居)	7.6	2.3	4.6	3.1	18.3	1.5	213.0

現在の働き方別にみると（表3-8-2）、正規の職員・従業員では「子どもと一緒にすごせる時間が短い」（48.1%）や「子どもの世話や行事への参加が十分にできない」（46.0%）などをあげる人が多く、パート・アルバイトでは「子どものために十分にお金がかからない」と答えた人（51.0%）が多く、半数の人にあげられている。

表3-8-2 子育ての不安や悩み（現在の働き方別）

	n	子どもと一緒 過ごす時間が 短い	十分な世話を 加えない	十分のお金が ない	子どもの悩みに 関係ない	子どもと友人 関係ない	別の親と子ども の関係	子どもと健康に 関係ない
総数	717	41.8	38.6	38.2	26.5	25.8	15.5	14.9
（現在の働き方別）								
会社・団体の役員	31	64.5	54.8	6.5	22.6	35.5	9.7	22.6
正規の職員・従業員（正社員）	339	48.1	46.0	35.4	28.6	29.5	17.1	18.9
パート・アルバイト	143	36.4	28.0	51.0	23.8	19.6	14.7	9.1
嘱託・準社員・臨時職員	48	45.8	43.8	47.9	31.3	27.1	16.7	18.8
人材派遣会社の派遣社員	6	33.3	50.0	50.0	16.7	-	-	-
自営業	37	48.6	40.5	32.4	40.5	29.7	8.1	16.2
自営業の手伝い（家族従業者）	9	33.3	33.3	33.3	-	11.1	-	-
内職	1	-	-	-	-	-	100.0	-
その他	4	50.0	50.0	25.0	75.0	50.0	75.0	-

	子どもでいる ことがひとりで 親に	子どもが周囲 から	子どもが批判 的に	その他	とくにない	無回答	回答計
総数	9.2	6.7	4.9	3.5	16.3	2.6	244.6
（現在の働き方別）							
会社・団体の役員	-	3.2	-	3.2	12.9	3.2	238.7
正規の職員・従業員（正社員）	10.6	8.0	5.9	4.7	13.3	1.8	267.8
パート・アルバイト	9.1	6.3	3.5	2.8	14.0	2.8	221.0
嘱託・準社員・臨時職員	16.7	4.2	2.1	-	10.4	4.2	268.8
人材派遣会社の派遣社員	-	-	-	-	16.7	-	166.7
自営業	5.4	5.4	8.1	5.4	27.0	2.7	270.3
自営業の手伝い（家族従業者）	-	-	-	11.1	44.4	-	166.7
内職	-	-	-	-	-	-	100.0
その他	-	25.0	-	-	-	-	350.0

4 別れた相手（子どもの親）とのかかわり

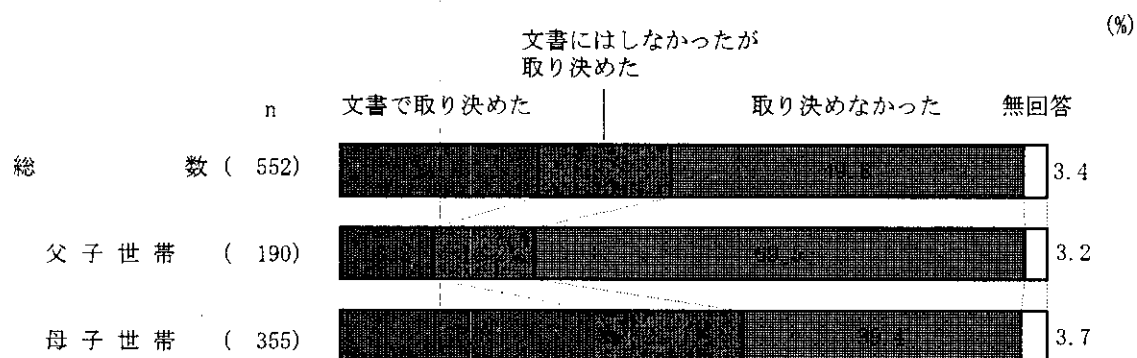
(1) 子どもの養育費についての取り決め

離婚、別居、未婚・非婚によって、ひとり親になった方に、問29～問32をお聞きします。

死別の方は、問33にお進みください。

問29 子どもの養育費について、別れた相手（子どもの親）と取り決めをしましたか。（○は1つ）

図4-1-1 子どもの養育費についての取り決め

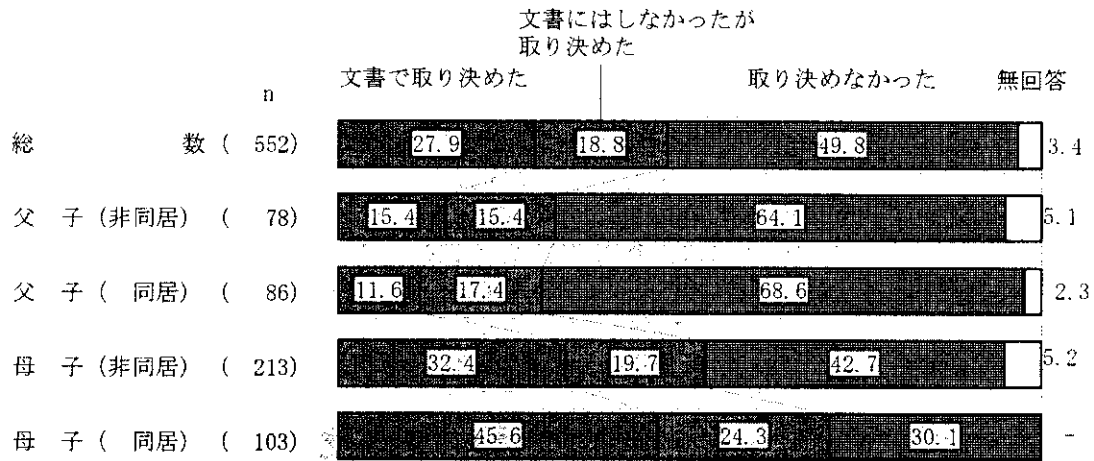


離婚、別居、未婚・非婚によってひとり親になった人（552人）について、子どもの養育費について取り決めたかどうかをみると（図4-1-1）、「文書で取り決めた」と答えた人は27.9%、「文書にはしなかったが取り決めた」と答えた人が18.8%となっており、何らかの取り決めをした世帯が合計5割近くとなっている。

男女別にみると、「文書で取り決めた」と答えた人は母子世帯（35.8%）が父子世帯（13.2%）より23ポイント多くなっている。父子世帯では、「取り決めなかった」と答えた人が69.5%（母子世帯39.4%）と7割に達している。

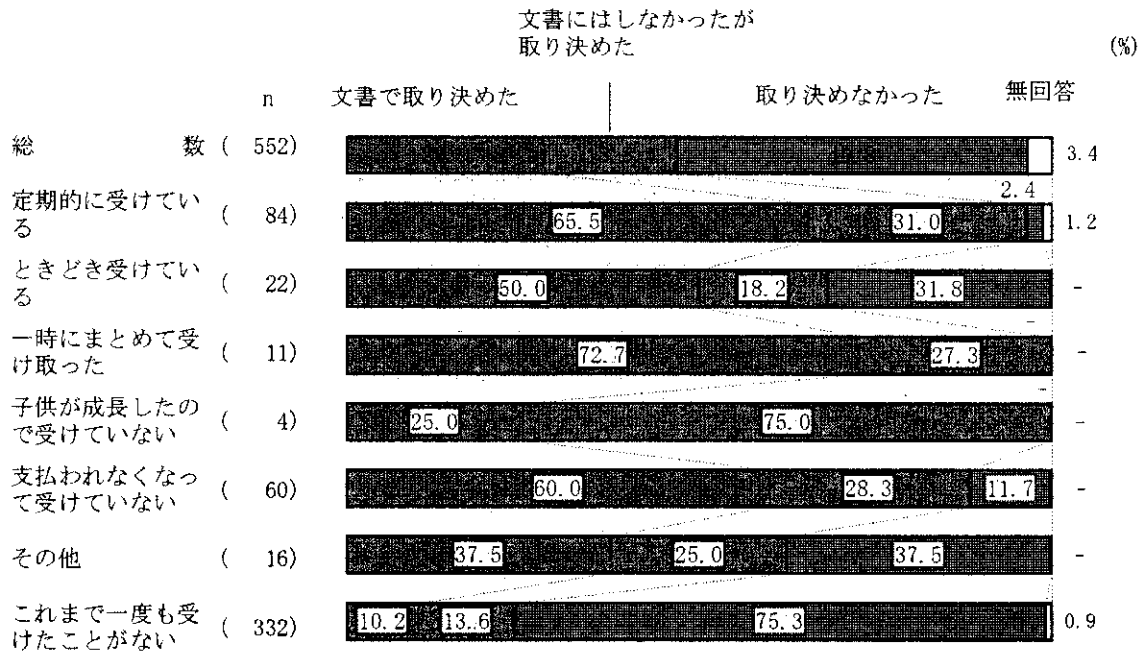
同居・非同居別にみると（図4-1-2）、「文書で取り決めた」と答えた人は母子同居世帯（45.6%）、母子非同居世帯（32.4%）の順に多くなっている。

図4-1-2 子どもの養育費についての取り決め（同居・非同居別） (%)



養育費の受け取りの有無別にみると（図4-1-3）、「文書で取り決めた」と答えた人は、定期的に受けている人（65.5%）で多くなっている。また、支払われなくなって受けていない人でも「文書で取り決めた」と答えた人が60.0%と多い。

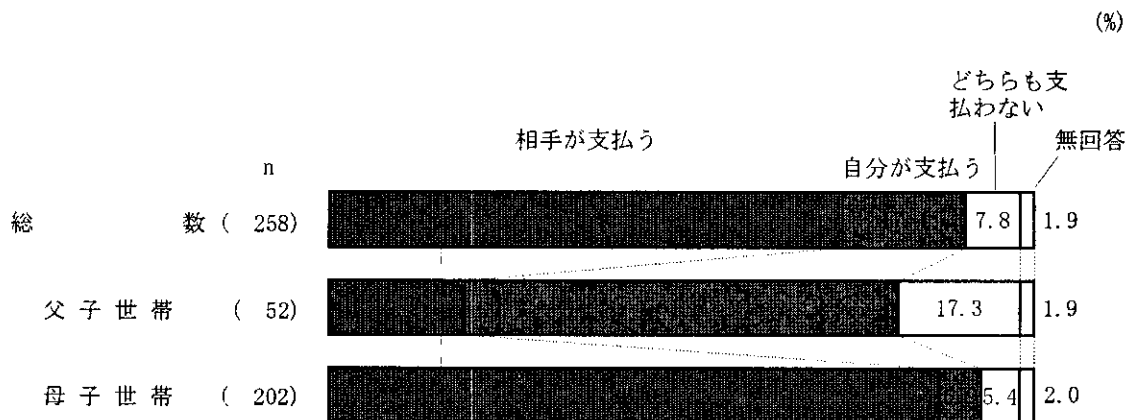
図4-1-3 子どもの養育費についての取り決め（養育費の受け取りの有無別）



【問29で「1」または「2」に○をつけた方にお聞きします。】

問29-1 どのように取り決めましたか。(○は1つ)

図4-1-4 養育費の支払い



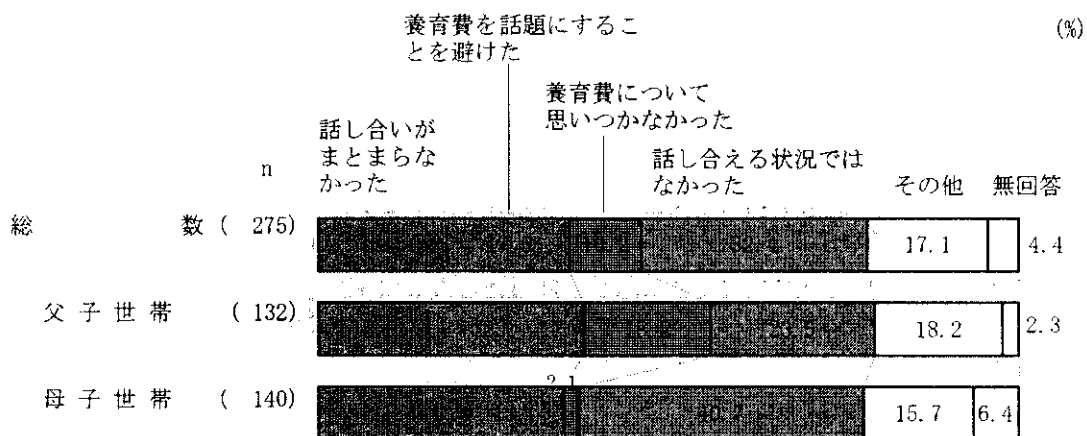
養育費について取り決めた世帯(258人)に、その内容を聞いたところ(図4-1-4)、「相手を支払う」と答えた人が72.9%と7割を超えている。

男女別にみると、父子世帯では「自分が支払う」と答えた人が61.5%と6割を超えているのに対して、母子世帯では「相手を支払う」と答えた人が86.6%と9割近くに達している。

【問29で「3」に○をつけた方にお聞きします。】

問29-2 取り決めなかったのは、なぜですか。(○は1つ)

図4-1-5 取り決めなかった理由



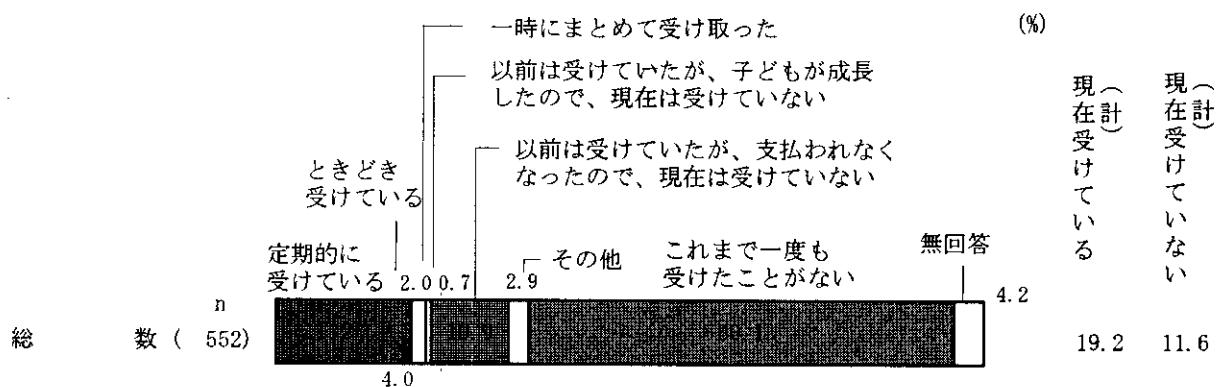
養育費について取り決めなかった世帯（275人）に、取り決めなかった理由をたずねたところ（図4-1-5）、「話し合える状況ではなかった（暴力・行方不明など）」と答えた人が32.4%と最も多く、ほぼ3人に1人の割合となっている。このほか、「話し合いがまとまらなかった」（18.5%）、「養育費を話題にすることを避けた」（17.5%）などが2割弱の人にあげられている。

男女別にみると、父子世帯では「話し合える状況ではなかった（暴力・行方不明など）」（23.5%）、「養育費を話題にすることを避けた」（22.0%）、「養育費について思いつかなかった」（18.2%）などをあげる人が多く、母子世帯では「話し合える状況ではなかった」と答えた人（40.7%）が多くなっている。

(2) 養育費の受け取り

問30 実際に、別れた相手(子どもの親)から養育費を受けていますか。(〇は1つ)

図4-2-1 別れた相手からの養育費の受け取り



養育費についての取り決めの有無にかかわらず実際に養育費を受けているかどうかたずねたところ(図4-2-1)、「これまで一度も受けたことがない」と答えた人が60.1%と6割に達している。現在、養育費を受けている人は2割程度で、「定期的を受けている」と答えた人が15.2%となっている。また、「以前は受けていたが、支払われなくなったので、現在は受けていない」と答えた人(10.9%)が1割みられる。

男女別にみると(表4-2-1)、「これまで一度も受けたことがない」と答えた人は父子世帯では88.9%と9割弱に達しているのに対して、母子世帯では44.8%と4割台となっている。母子世帯では、現在養育費を受けている人が3割弱で、「定期的を受けている」と答えた人が22.8%とほぼ4人に1人の割合となっている。

表4-2-1 別れた相手からの養育費の受け取り(男女別)

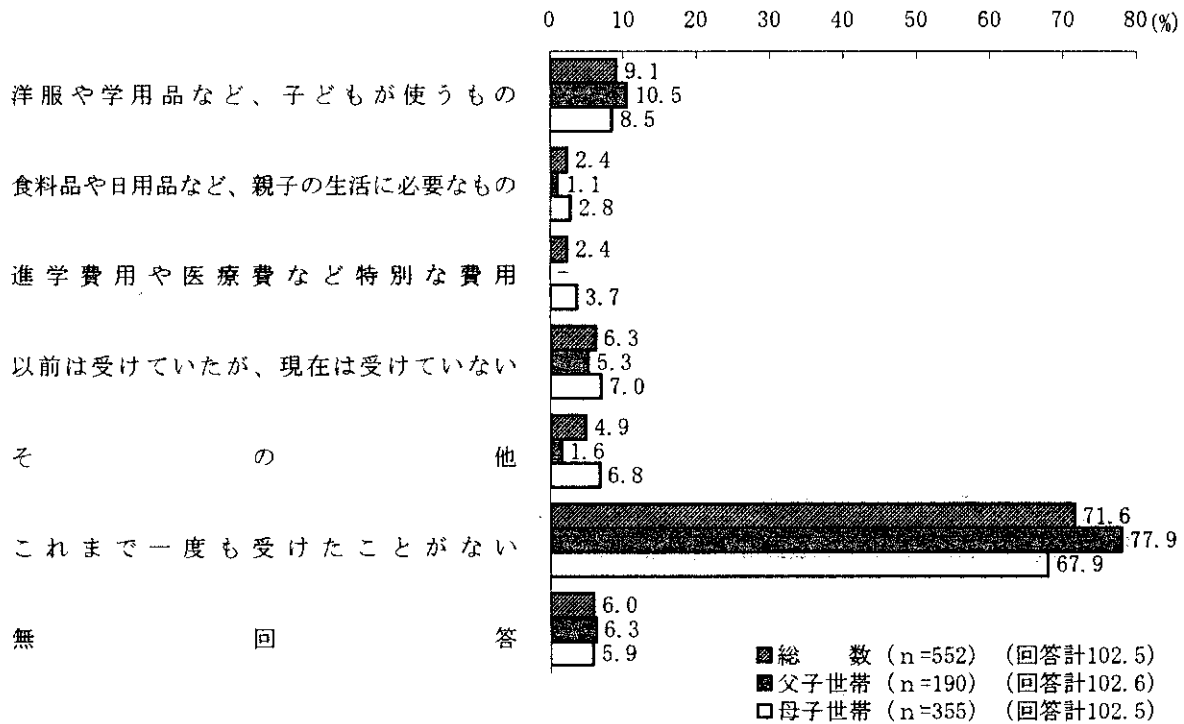
(%)

	n	定期的に 受けている	ときどき 受けている	一時にま とめて受 け取った	以前は受 けていた が、子ど もが成長 したので、 現在は受 けていな い	以前は受 けていた が、支払 われなく なったの で、現在 は受けて いない	その他	これまで 一度も受 けたこと がない	無回答	現在受け ている (計)	現在受け ていない (計)
総 数	552	15.2	4.0	2.0	0.7	10.9	2.9	60.1	4.2	19.2	11.6
(男女別)											
父 子 世 帯	190	1.1	0.5	0.5	-	2.6	1.1	88.9	5.3	1.6	2.6
母 子 世 帯	355	22.8	5.9	2.5	1.1	15.2	3.9	44.8	3.7	28.7	16.3

(3) 養育費以外の受け取り

問3-1 別れた相手(子どもの親)から、次のものを受けていますか。(〇はいくつでも)

図4-3-1 別れた相手から受けたことがあるもの



別れた相手(子どもの親)から受けたことのあるものについては(図4-3-1)、「これまで一度も受けたことがない」と答えた人が71.6%と3人に2人以上の割合となっている。受けたものでは「洋服や学用品など、子どもが使うもの」(9.1%)が最も多いが、いずれも10%以下となっている。

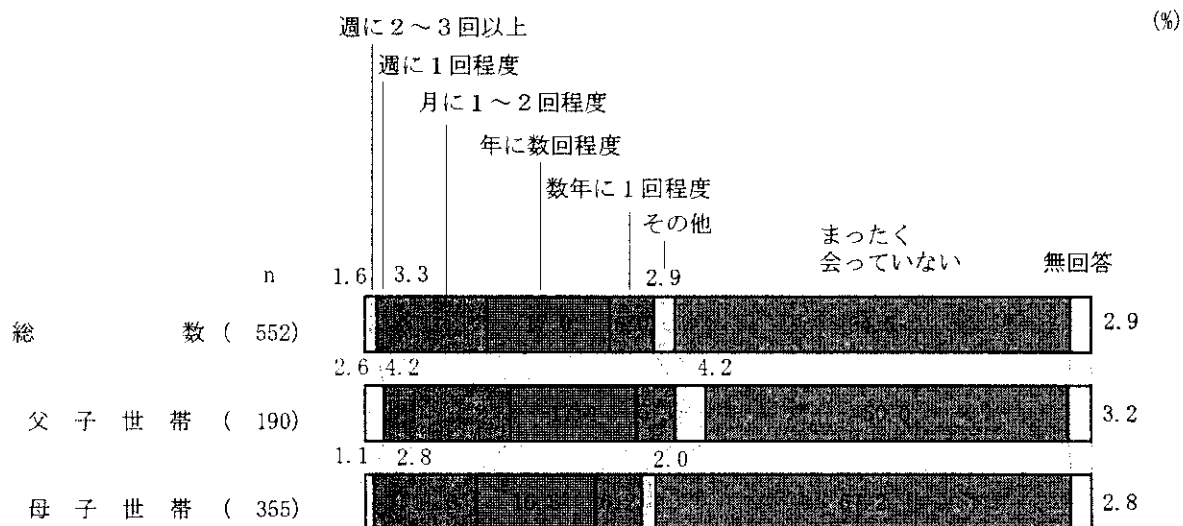
男女別にみても大きな差はみられないが、「これまで一度も受けたことがない」（父子世帯 77.9%、母子世帯 67.9%）と答えた人は父子世帯が 10 ポイント多くなっている。

(4) 別れた相手（子どもの親）と子どもの面会

問32 あなたのおさんは、別れた相手（子どもの親）と、どのくらい会っていますか。（○は1つ）

*お子さんによって回数が違う場合は、回数の多い方でお答えください。

図4-4-1 別れた相手と子どもが会う頻度



子どもと別れた相手（子どもの親）が会う頻度をたずねたところ（図4-4-1）、「年に数回程度」と答えた人が17.0%と多く、次いで「月に1～2回程度」（11.8%）となっている。また、「まったく会っていない」と答えた人が54.5%と5割を超えている。

男女別にみると、「まったく会っていない」と答えた人は父子世帯の50.0%に対し、母子世帯では57.2%と7ポイント多くなっている。

5 生活全般について

(1) 現在の健康状態

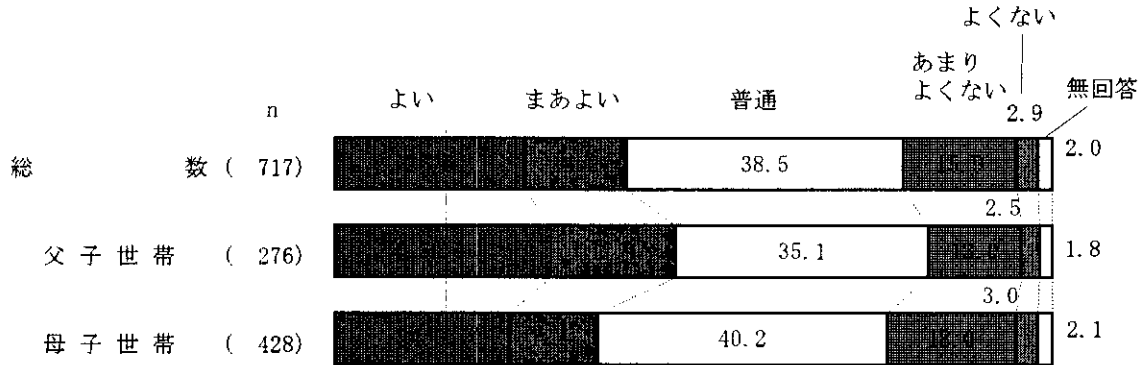
【全員の方にお聞きします。】

生活全般についてうかがいます。

問33 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

図5-1-1 現在の健康状態

(%)

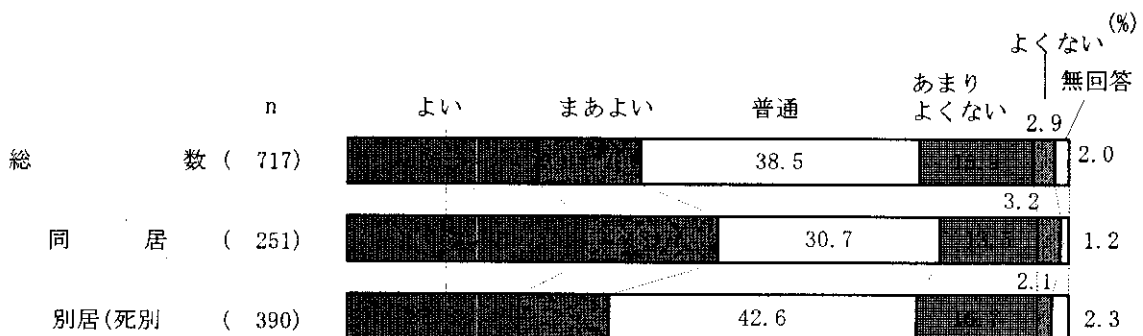


回答者の現在の健康状態についてみると(図5-1-1)、「よい」(26.5%)、「まあよい」(14.2%)と答えた人を合わせると、健康状態が『よい』と答えた人が4割強で、また「普通」と答えた人が38.5%と4割近くとなっている。一方、「あまりよくない」(15.9%)、「よくない」(2.9%)と答えた人は合計2割弱となっている。

男女別にみると、「よい」「まあよい」をあわせた、健康状態が『よい』と答えた人は父子世帯では47.5%であるのに対して、母子世帯では36.7%と11ポイント少なくなっている。健康状態が『よくない』人は、父子世帯(15.5%)より母子世帯(21.0%)でやや多くなっている。

さらに、子どもの祖父母との同居の有無別にみると(図5-1-2)、健康状態が『よい』と答えた人は、祖父母と同居している人では51.4%と半数を超えているが、別居(死別を含む)の人では36.4%と少なく、3人に1人強の割合となっている。

図5-1-2 現在の健康状態(祖父母との同居の有無別)



本人年齢別にみると(表5-1-1)、50~54歳で「あまりよくない」と答えた人(25.0%)がやや多くなっている。

表5-1-1 現在の健康状態(本人年齢別)

		n	よ い	ま あ よ い	普 通	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答
総数		717	26.5	14.2	38.5	15.9	2.9	2.0
(本人年齢別)								
20歳未満	1	100.0	-	-	-	-	-	-
20~24歳	4	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-
25~29歳	43	39.5	11.6	25.6	18.6	2.3	2.3	
30~34歳	91	27.5	16.5	36.3	16.5	2.2	1.1	
35~39歳	124	25.0	14.5	41.9	13.7	3.2	1.6	
40~44歳	169	26.6	14.8	40.2	14.8	2.4	1.2	
45~49歳	150	26.7	14.0	38.7	16.7	2.7	1.3	
50~54歳	92	18.5	10.9	37.0	25.0	4.3	4.3	
55~59歳	23	30.4	17.4	43.5	-	4.3	4.3	
60歳以上	3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	

現在の働き方別にみると(表5-1-2)、健康状態が『よい』と答えた人(「よい」「まあよい」の合計)は正規の職員・従業員では43.3%となっているが、パート・アルバイトでは33.6%と10ポイント少なくなっている。

表5-1-2 現在の健康状態(現在の働き方別)

		(%)					
	n	よ い	ま あ よ い	普 通	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答
総 数	717	26.5	14.2	38.5	15.9	2.9	2.0
(現在の働き方別)							
会社・団体の役員	31	32.3	22.6	32.3	9.7	3.2	-
正規の職員・従業員(正社員)	339	28.3	15.0	37.5	18.0	0.3	0.9
パート・アルバイト	143	22.4	11.2	45.5	16.1	2.1	2.8
嘱託・準社員・臨時職員	48	22.9	10.4	41.7	16.7	4.2	4.2
人材派遣会社の派遣社員	6	16.7	16.7	66.7	-	-	-
自 営 業 主	37	18.9	21.6	37.8	13.5	8.1	-
自営業の手伝い(家族従業者)	9	55.6	-	33.3	-	11.1	-
内 職	1	-	100.0	-	-	-	-
そ の 他	4	50.0	50.0	-	-	-	-

勤労収入別にみると（表5-1-3）、年収250～350万円未満で「あまりよくない」と答えた人（20%台前半）がやや多くみられる。

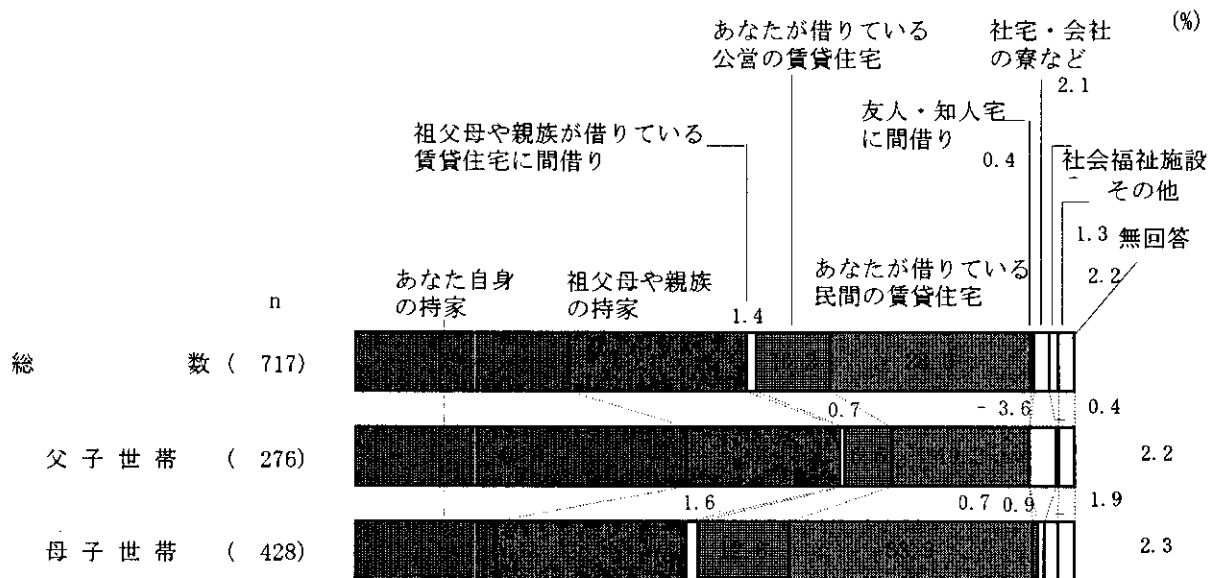
表5-1-3 現在の健康状態(勤労収入別)

	n	よ い	ま あ よ い	普 通	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答
総 数	717	26.5	14.2	38.5	15.9	2.9	2.0
(勤 労 収 入 別)							
5 0 万 円 未 満	15	33.3	13.3	20.0	33.3	-	-
5 0 ~ 1 0 0 万 円 未 満	46	23.9	13.0	39.1	17.4	4.3	2.2
1 0 0 ~ 1 5 0 万 円 未 満	88	27.3	10.2	44.3	12.5	2.3	3.4
1 5 0 ~ 2 0 0 万 円 未 満	64	20.3	15.6	46.9	12.5	3.1	1.6
2 0 0 ~ 2 5 0 万 円 未 満	62	19.4	16.1	41.9	19.4	-	3.2
2 5 0 ~ 3 0 0 万 円 未 満	45	26.7	13.3	35.6	22.2	-	2.2
3 0 0 ~ 3 5 0 万 円 未 満	40	35.0	10.0	35.0	20.0	-	-
3 5 0 ~ 4 0 0 万 円 未 満	28	17.9	10.7	42.9	17.9	7.1	3.6
4 0 0 ~ 4 5 0 万 円 未 満	36	27.8	13.9	44.4	13.9	-	-
4 5 0 ~ 5 0 0 万 円 未 満	36	33.3	8.3	50.0	8.3	-	-
5 0 0 ~ 6 0 0 万 円 未 満	41	26.8	26.8	29.3	14.6	-	2.4
6 0 0 ~ 7 0 0 万 円 未 満	46	37.0	13.0	37.0	13.0	-	-
7 0 0 ~ 8 0 0 万 円 未 満	28	32.1	25.0	28.6	14.3	-	-
8 0 0 ~ 9 0 0 万 円 未 満	17	23.5	23.5	29.4	17.6	5.9	-
9 0 0 ~ 1 0 0 0 万 円 未 満	5	-	20.0	80.0	-	-	-
1 0 0 0 万 円 以 上	13	30.8	15.4	38.5	15.4	-	-

(2) 現在の住まい

問34 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)

図5-2-1 現在の住まい



回答者の現在の住まいをみると(図5-2-1)、「あなたが自身の持家(一戸建・マンション等)」(29.8%)と「あなたが借りている民間の賃貸住宅」(28.0%)が3割近くと多く、次いで「祖父母や親族の持家(一戸建・マンション等)」(24.5%)となっている。

男女別にみると、父子世帯では「あなたが自身の持家」と答えた人が46.0%と母子世帯(19.6%)より26ポイント多く、一方、母子世帯では「あなたが借りている民間の賃貸住宅」と答えた人(33.9%)が父子世帯(19.2%)より15ポイント多くなっている。

現在の働き方別にみると(表5-2-1)、正規の職員・従業員では「あなた自身の持家」と答えた人が36.3%と最も多く、次いで「祖父母や親族の持家(一戸建・マンション等)」(24.5%)、「あなたが借りている民間の賃貸住宅」(24.2%)となっているが、パート・アルバイトでは「あなたが借りている民間の賃貸住宅」と答えた人(39.2%)が4割弱と多く、次いで「祖父母や親族の持家」(26.6%)が続き、「あなた自身の持家」と答えた人は14.7%で、正規の職員・従業員の半分以下の割合となっている。

表5-2-1 現在の住まい(現在の働き方別)

	n	あなた自身の持家(一戸建・マンション等)	祖父母や親族の持家(一戸建・マンション等)	祖父母や親族が借りている賃貸住宅に間借り	あなたが借りている公営の賃貸住宅	民間の賃貸住宅に借りている	友人・知人宅に間借り	社宅・会社の寮など	生活支援施設(母子生活福祉施設など)	その他	無回答
総数	717	29.8	24.5	1.4	10.2	28.0	0.4	2.1	-	1.3	2.2
(現在の働き方別)											
会社・団体の役員	31	58.1	12.9	3.2	3.2	19.4	-	3.2	-	-	-
正規の職員・従業員(正社員)	339	36.3	24.5	0.6	9.1	24.2	-	2.9	-	1.5	0.9
パート・アルバイト	143	14.7	26.6	2.1	12.6	39.2	0.7	-	-	1.4	2.8
嘱託・準社員・臨時職員	48	20.8	22.9	2.1	12.5	35.4	-	2.1	-	-	4.2
人材派遣会社の派遣社員	6	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-
自営業業主	37	40.5	21.6	-	8.1	24.3	-	-	-	2.7	2.7
自営業の手伝い(家族従業者)	9	22.2	55.6	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-
内職	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
その他	4	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-